

第1回

東北臨床腫瘍セミナー

The 1st Seminar of Tohoku Clinical Oncology Research and Education Society

～がん臨床研究とその実践～

2005.5.21 sat

プログラム

12:40—16:40

場所：仙台国際センター 2F 橋

情報提供

<TS-1の安全管理情報>大鵬薬品工業株式会社より

開会の挨拶

13:00—13:10

研究会設立の主旨と今後の展開

東北大学加齢医学研究所

石岡千加史

教育講演

13:10—14:50

司会：望月 泉 (岩手県立中央病院)

大高道郎 (秋田大学)

1. 癌化学療法の最近の流れ ～Topics～

福島県立医科大学 第一外科 助教授 寺島 雅典 先生

2. 胃癌治療ガイドラインのポイント

～リンパ節郭清と補助化学療法～

国立がんセンター中央病院 第1領域外来部 部長 笹子三津留 先生

3. 抗癌剤併用第Ⅰ/Ⅱ相試験のガイドライン

九州大学大学院医学研究院 消化器・総合外科分野 教授 前原 喜彦 先生

< 休 憩 >

企画Ⅰ

15:00—15:50

ディスカッション：蒲生真紀夫 (みやぎ県南中核病院)

福島 紀雅 (山形県立中央病院)

～外来化学療法の標準化と課題～

アンケートアナライザーシステムを用います。

1. 当院における外来化学療法の標準化と看護師の役割

みやぎ県南中核病院 主任看護師 大槻 明美 先生

2. 外来化学療法における薬剤部の役割

東北大学病院 薬剤部 薬品調製室長 穂積 雅人 先生

3. 外来化学療法の運営とプロトコール管理

東北大学病院 外来化学療法センター 副センター長 吉岡 孝志 先生

企画Ⅱ

15:50—16:30

司会：齋藤 博 (山形県立中央病院)

癌化学療法におけるコストベネフィット (予定)

慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室 講師 池田 俊也 先生

閉会の挨拶

青森県立中央病院

齋藤 聡

世話人

当番世話人：石岡 千加史

齋藤 聡 (青森県立中央病院)、川崎 仁司 (弘前大学)、伊東 重豪 (弘前大学)、望月 泉 (岩手県立中央病院)、高金 明典 (岩手医科大学)、鈴木 明彦 (盛岡赤十字病院)、伊藤 正直 (秋田大学)、大高 道郎 (秋田大学)、小棚木 均 (秋田赤十字病院)、齋藤 博 (山形県立中央病院)、福島 紀雅 (山形県立中央病院)、福田 俊 (山形大学)、石岡 千加史 (東北大学加齢医学研究所)、椎葉 健一 (東北大学)、蒲生 真紀夫 (みやぎ県南中核病院)、寺島 雅典 (福島県立医科大学)、竹之下 誠一 (福島県立医科大学)、【事務局】吉岡 孝志 (東北大学加齢医学研究所)

参加費は、医師 (¥1,000)、コメディカル (¥500) となります。

プログラムに関連した資料も準備しております。

※本セミナーは日本医師会生涯教育講座5単位の認定を受けております。

共催

東北臨床腫瘍研究会
宮城県医師会
大鵬薬品工業株式会社

後援

東北病院薬剤師会
東北大学医師会

事務局

【お問い合わせ】門脇真理 又は 佐々 香 まで
東北大学加齢医学研究所 癌化学療法研究分野
TEL:022-717-8547 FAX:022-717-8548

本邦では高齢化社会が進むに伴いがんに罹患する患者様が急増しているにも拘らず、医療関係者を対象とした臨床腫瘍学に関する教育が不十分であると各方面で報告されています。日本癌治療学会や日本臨床腫瘍学会ではがん治療の専門医制に向けて各種の教育セミナーが開催されており、東北地区でも身近な教育・研修の場が要望されておりました。今回、消化器癌の治療に携わる東北各地区の有志により臨床腫瘍学に関する研修の場を設ける事となりました。将来的には、医師だけでなく、看護師や薬剤師も含めて相互討論できるようなセミナーにできればと考えています。